

角鹿中学校・敦賀北小学校・咸新小学校・赤崎小学校

角鹿中学校区 小中一貫教育

「主体的な生き方を育む9年間を見通した教育」

「小中連携教育」から「小中一貫教育」へ

平成28年度、敦賀市の全中学校区において9年間の学びのつながりを重視した「小中一貫教育」がスタートしました。その中で、角鹿中学校区（3小学校・1中学校）は、平成28・29年度に文部科学省の研究指定を受け、「主体的な生き方を育む9年間を見通した教育」を進めています。

めざす生徒像（15歳の卒業時の姿）

他とのかかわりの中で新たな課題を持ち、よりよい自分へと向かう生徒

子どもどうしのかかわり

家庭・地域の方とのかかわり

大人とのかかわり

世界の人とのかかわり

ねらい<その1>

各校の特徴や学校文化などを大切にしながら、9年間を見通した、角鹿中学校区の地域を活かした教育を進めていきます。

ねらい<その2>

自らすすんで学ぶ子どもたちを育てます。

○小中学校間で「学年に応じた学ぶ姿」をつなげていきます。

○平成28・29年度の2年間は小中学校間で、国語、算数・数学、外国語活動・英語を中心に進めていきます。

ねらい<その3>

スムーズな小中の接続（中1ギャップの解消）を目指します！

○学校生活の努力点を共通化します。

（例）清掃のやり方

○小中学校の生活のきまりを共有化します。

角鹿中

敦賀北小

咸新小

赤崎小

幼児教育では「学びの芽」を育て、小学校の「学び」につなげています。

平成28年度 これまでの取組み これからの取組み

月	角鹿中学校区の地域を活かした教育	自らすすんで学ぶ子どもたちを目指して	スムーズな小中の接続に向けて
5	11日 小中連携避難訓練 (北小・角鹿中) ※雨天 各校で実施		
6		22日 小小合同授業(5・6年) ・中学校の先生による英語の合同授業 23・24日 小小合同授業(5・6年) ・算数・音楽・体育・特活	
7			7日 中学校の部活動壮行会を小学生が見学
8		3日 小小・小中合同授業(6年) ・中学校の先生による数学・音楽の合同授業	3日 清掃活動のやり方を中学生から学ぶ 19日 中学校の先生によるトランペット鼓笛指導
9		29日 小小合同授業(5・6年)	29日 中学校の合唱コンクールを小学校が見学
10	20日 小中芸術鑑賞 4校児童生徒が一緒に鑑賞	13~25日(小1~小6) 小小合同授業 ・国語、算数、英語等	
11		15日(中学校) ・国語、数学、英語	
12	14日 中学校伝統のフォークダンスを小中でともに体験	14日(小6) ・国語・技術	
1		17・24日 小小合同授業(5・6年) ・国語・算数・理科・英語 体育	17日 清掃活動のやり方を中学生から学ぶ 24日 小学生の部活動体験
2		3日 6年体験入学による合同授業 ・社会・美術	3日 体験入学座談会 ・生活全般のことを知る
3		17日 6年体験入学による合同授業	17日 体験入学

角鹿中学校区小中一貫教育 Q&A

Q 1 角鹿中学校区の小中一貫教育は、いつから始まったのですか？

A 1 角鹿中学校区では、これまで小中連携教育を行ってきました。本校区は、平成28年度4月から文部科学省の指定を受け、本格的な小中一貫教育がスタートしました。

Q 2 「小中連携教育」と「小中一貫教育」は、どう違うのですか？

A 2 「小中連携教育」とは、小中学校が情報交換をしたり、授業や行事などの教育活動を交流したりすることを通して、小学校から中学校への滑らかな接続を目指す教育です。教育目標や教育計画などは、小・中学校ではそれぞれ別々だという前提です。

「小中一貫教育」とは、小中学校が目指す子ども像を設定し、9年間を通した教育課程（教育計画）を編成し、系統的な教育を目指すものです。

Q 3 「小中一貫教育」には、どんないいことがあるの？

A 3 現在3小学校1中学校で進めている角鹿中学校区の小中一貫教育には、次のよいところがあります。

- ・小中学校において、合同授業や活動の交流が増えることで、中学校入学前には、3つの小学校の子どもたち同士が仲良くなり、入学後も学校環境や人間関係を心配することなく新しい学校生活がはじめられることです。不登校やいじめを未然に防止することにもつながります。
- ・中学校の教員が小学校で専門の教科を活かした授業をする、あるいは、小学校の教員が、中学校の授業のティーム・ティーチング等を担当することにより、小中学校の「学びのつながり」ができてきます。子どもたちは、中学校の授業スタイルに早い時期から慣れ、入学後の学習への不安が減少します。また、より深く学ぶ機会が増えることで、学習意欲の向上につながります。
- ・子どもたちの得意なことや苦手なことを多くの教職員で共通理解を図ることで、できることをさらに伸ばしたり、つまづきに対してより丁寧な指導や支援を受けたりすることができます。

Q 4 「小中一貫教育」で困ることはないの？

A 4 小規模の小中学校での課題の1つに、人間関係の固定化があげられています。一度できた友だちとの関係がなかなか変わることなく、良い面でも悪い面でも長く続いてしまう可能性があるというものです。

小中一貫校となった場合、各学年2クラス程度の編制となると考えられます。新たな人間関係をつくり出すためにも、現在各校が行っている地域（大人）との交流や異学年交流を充実させていきます。また、教育相談の機会を大切にし、子どもたちの心にそった教育を進めていきます

Q 5 「めざす生徒像（15歳の卒業時）」は、どうやって決まったの？

A 5 文部科学省から指定を受けた研究を充実させながら小中一貫教育を進めるため、平成28年2月に、角鹿中学校の保護者からいただいたアンケートの回答をもとに「保護者の皆様が願う15歳の姿」をまとめ、校区の小中学校で検討し決定しました。9月には、PTA会長をはじめ地域の方々、有識者の方々にも見ていただき、ご助言をいただきました。

この2年間、文部科学省の研究指定を受け、めざす生徒像の実現に向け、精一杯努力していきます。

Q 6 文部科学省の研究指定ではどのようなことをするの？

A 6 平成28・29年度の2年間、角鹿中学校区の4小中学校は、「教育課程研究指定事業（校種間連携）」（国立教育政策研究所より委託）の研究指定校となります。小中学校の授業の中で、子どもたちの資質や能力をどう見取るかという研究を進めています。具体的には、“すすんで学ぶ姿（主体的な態度）”は各教科でどのような成果として表れるのか、どのような評価が適切なのか等について研究していきます。

研究を通して、子どもたち同士の交流だけでなく小中学校の教員間の交流も深まります。これを核に、学校生活や行事、日々の教育活動においても小中一貫教育を進めていきます。

Q 7 角鹿中学校は、いつ小中一貫校になるの？

A 7 小中で一貫した教育を行う学校を通常「小中一貫校」と呼んでいます。その意味では、平成28年4月より、すでに小中一貫校となっているともいえます。

ただし、平成27年度小中教育環境検討委員会において、小中一貫校は、角鹿中学校に小中一貫校を設置することが合理的との答申を受け、建設地や建設内容、開校までのスケジュールについて、敦賀市教育委員会が『角鹿中学校区統合検討委員会』に対して「角鹿中学校区の統合について」の諮問をし、現在協議をしているところです。3月には、答申が出される予定です。この結果をご覧ください。